



# 共2!

校訓：自立・親和・協力  
合言葉：「愛・SUN・三  
～共育spirit～」

長崎市立三和中学校  
令和6年度学校だより No.13  
令和6年12月23日(月)  
文責 校長 赤塚竜造

三中のHPをぜひ見てください。学校の様子などをアップしています。訪問者数目標30000人!

[振り返りその⑥]

**生徒会役員任命式・引継式**

12月17日(火) 現役員から新役員へ!

生徒会役員の任命式と引継式を行いました。新執行部のメンバーと各専門委員会の新メンバーです。これまでの伝統に加え、新たなことにチャレンジしようとする意気込みが感じられる新会長のあいさつでした。現役員のメンバー、1年間大変お疲れさまでした。また、ありがとうございました！新役員のメンバー、これから1年間の三中をよろしくお願いします。

会長 O・N    副会長男子 T・H    副会長女子 T・N  
広報書記男子 N・I    広報書記女子 N・K

専門委員会	専門委員長	副専門委員長
学 習	H・K	I・M
体 育	K・K	K・Y
厚生衛生	N・M	M・Y
生活環境	K・S	T・Y
文化推進	N・K	O・N
図 書	K・U	M・S

一生懸命  
がんばります！  
よろしく  
お願いします!!



☆2学期の振り返りを6回にわたってご紹介しました。全校的に行われたものを中心にご紹介しましたが、各学年ではもっといろいろなことに取り組んできました。学習はもちろんのこと総合的な学習の時間や学年行事などさまざまです。ご家庭でぜひお子様に学校での出来事等を聴いていただき、対話のひと時をもっていただければと思います。

**「第九」が流れる季節…**

『どんなことがあっても運命に打ち負かされない。生命を千倍生きることは全くすばらしい。』

～ベートーベン～

第九として世界中に愛される「交響曲第9番」。今年はこのベートーベンの傑作が初演されて200年の節目にあたるようで、最終楽章の「歓喜の歌」は日本でも親しまれる年末の風物詩ともなっています。「難聴」という、音楽家にとって致命的ともいえる過酷な現実と向き合い「第九」を完成させたベートーベン。「苦悩を突き抜けて歓喜に至れ！」—彼の魂の叫びです。

もう一文紹介。『困難な何ごとかを克服するたびごとに私はいつも幸福を感じました』と。

人生、苦勞や苦悩はつきもの。とにかく1mmでも前へ進もうと勇気をもらえる言葉だと感じます。